 授業科目		文学 Ⅱ			担当教員	辻尾	修				
1文	未付口	<u></u>		実務経験	無						
授	業形態	講義	単位数	1単位	開講時期	2学年前期 15時間					
経	歴•役職	元公立高村	交教員	•							
	「文学 I 」で学んだことを土台にして、医療現場のみならず実社会において求められる実践的な 国語力を身につける										
	成績評価の方法										
定期	試験を8割、	出席状況	・課題の提	出·授業態	度等を2割とし、	総合的に評価する。					
				教科書	書と参考文献						
各種	文献·新聞·	·参考書·問	題集等を	参考にし、フ	プリントを準備すん	5 .					
					 上 の 注 意						
特にな	なし。			712 12							
No.				授業	美題目•授業概要	15					
1					字の読み、特殊	な漢字・専門語の読み	5,方)				
2	3 「漢字」 (書き取	(2)漢字の	書き取りどころ、同		字・専門語の書	き取り)					
3	4 「表現」		ダ・四字熟記		意味・誤用など)						
4	5 表現(2)間違った	表現(重複	表現など)	-t-) t-7-t-1/4.						
5	6 表現(3)待遇表現	」(尊敬・謙	譲・丁寧・美							
6	6 表現(4		とは(コラム	に学ぶ、文	\は一生の宝物 <u>)</u> 体の統一•推敲						
7		(5)スピー・ 療・健康を		た内容で2分	う間スピーチを	する。					
8	8 まとめと	試験									
9											
10											

L

授	業科目		英語 Ⅱ		担当教員	Caroline Kim
1,0	***		<u>Дш п</u>		実務経験	無
授	業形態	演習	単位数	1単位	開講時期	2学年前期
経歴	歴・役職			英会	話スクール講師	・ 進学塾英語講師
		•	;	授業目	標 (Course Obj	jectives)
		や状況の会 うれるように		いれ、リスニン	ノグやスピーキン	グの実践的な練習を取り入れることによっ
			-	[問事項を募	英語で表現できる	5
			J	成績 評	価の方法	(Grading)
		定	期試験80	%・課題 &	クイズ 10%・授業	業態度10%の総合評価
					教科書	
•歯科	英語の練	習帳English	n for Denta	l Hygienists	s (萌文書林)	
					愛修上の注意	
教科	書、英語辞	典、プリント	、プリントオ	ベルダーをV)シート(ルーズリ \つも用意する 〔する場合もある	ーフ等)を用意する
No.						(Course Content)
1		Review Str Appointme		rpes of teeth	オリエンテーショ 電話の予約	ョン、歯の構造・名称
2		At the Rece		sk (1)		院の目的と既往症
3	Unit 3. I	Before the	Treatmen	t (1)	治療前の指示	
4	Unit 4. A	At the Rece	eption Des	sk (2)	受付にて:治療	療後
5	Unit 5. H	Before the	Treatmen	t (2)	治療の経過	
6	Unit 6. I	aking an	X-ray		レントゲンの	最影
7	Review U	Jnit 1 - Ur	nit 6		まとめ	
8	Unit 7. I	Dental Car	re		歯の手入れ	
9	Unit 8. I	How to Bru	ısh Your '	Γeeth	正しい歯磨き	
10	Unit 9. S	Smoking a	nd Eating	Habits	喫煙と食生活	
11	Unit 10.	How to Pr	revent Gu	m Disease	歯周病対策	
12	Unit 11.	Dental He	ealth of In	ftants	乳幼児の虫歯	予防
13	Unit 12.	Health Ac	ctivities		歯の健康のたる	めの活動
14	Unit 13.	At an adu	lt Daycar	e Center	デイケアセン	ターにて

まとめ

Review Unit 7 - Unit 13

15

恒 张 赵	H = -44 411	TP 4字 4字 47 (□ 12 + 12 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1		介田圭・田浦勝彦
授業科	口 地域密	科保健学(歯科衛生統計)	実務経験	有
授業形	態講義・演習	単位数 2単位	開講時期	2 学年後期(40時間)
経歴・役	長崎歯科衛生 (介田)長崎 師(2013	~2016)、 門学校公衆衛生非常勤講師 在)	所 f究科口腔保健学 i(2015〜2	F常勤講師 講座助教・柔鍼スポーツ専門学校公衆衛生非常勤講 016)長崎大学大学院医薬学総合研究科保存修復
		授		
科衛生士にな	よるべく、歯科衛生活)収集と取捨選択	:用し、科学的な思考で歯科衛生活動が展開できる歯 !から、収集したデータの処理と解析まで、目的に応
		成績	評価の方	法
出席[10%}	,レポート等[10%],	定期試験 [80%] (た	だし、両名の担	当教員で折半する)
		****	書と参考文献	
	E士教本「保健情報続 ルにでもできる小さな	注計学」 対力で確かな効果 (有)	砂書房	
1 = // / - / - /				
			上の注意	K.
No.		授 業 題 目 ・ 授	業 概 要・	到 達 目 標 (SBOs)
データ保健情		データと情報の違いを説明 エビデンスのレベルを説明		青報の性質を理解できる。
2 保健情		母集団と標本を説明できる 国家保健統計を説明できる		法を説明できる。3)標本抽出法を説明できる。 実態調査を説明できる。
3 保健情		疫学の目的を理解できる。 交絡因子が結果に大きな影		
4 保健情		疫学の調査方法を分類し、 スクリーニング検査の信頼		疫学の研究方法を分類し、説明できる。 できる。
5 歯科疾	患の指標と指数	1)指標と指	数を説明できる	0
	指数と集団での数量位		:説明できる。 2	2) う蝕の指数を説明できる。(演習1)
7 歯周疾	患(歯肉炎と歯周炎)	の指数 1)歯周疾患	の評価の条件を	説明できる。 2)歯周疾患の指数を説明できる。
0	掃状態の指数と集団	2) 口腔清扫	査法と部分診査注 帰状態の指数を記	説明できる。
	掃状態の指数と集団		帰状態の指数を記	
	合と歯列不正の指数 ッ素症指数 		歯列不正の指数を 症の分類を説明	を説明できる。 できる。 3) 歯のフッ素症指数を説明できる。
14 地域歯	科保健の基本的な進む	め方と健康づくり対策		
15 保健情	報の収集			
16 保健情	報の分析手順			
17 保健統	計の方法			
18 促健棲	報の分析演習			

19

情報の保護

20 情報倫理

授業科目	海	· 行政 . 社会	년 사다	担当教員	新庄 文明
1文未行日	衛生行政·社会福祉			実務経験	有
授業形態	講義 単位数 2単位		開講時期	2学年後期	
経歴•役職		前長崎	大学教授(予防歯科)・元大阪	阪大学医学部講師(公衆衛生)

授業目標

衛生行政に関する基本的な事項を把握し、歯科衛生士に欠かせない諸法規に関する理解を深める。また、歯科 衛生士業務をとりまく社会制度、とくに医療保障制度を中心、社会保障・社会福祉に関する仕組みの概要について 学ぶ。

成績評価の方法

授業中の小テスト 10%

授講態度 10%

定期試験 80%

る。

教科書と参考文献

教科書:『歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険』 末高健彦著 医歯薬出版

参考書:最新歯科衛生士教本『保健生態学』医歯薬出版

履修上の注意(学生に期待すること)

講義中に適宜実施する小テストの結果は成績に影響しないが、定期試験の多くは小テストの内容から出るので、 小テストの内容をよく理解しておくこと。シラバスに示す講義内容については、順序が変更されることがある。

11.7 ~	「マンド」行きなく注かしてもしても、マファットにから、時表に「合作とランド」では、河流に下が一名文ではいることがもの。
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要
1	衛生行政の目的と基盤: 人々の健康と生活を守る衛生行政の歴史、その仕組み、法律的な背景を学ぶ。
2	歯科衛生の職務: 歯科衛生士の沿革とその法律的な背景の変遷、ならびにそれらに対応じた歯科衛生士の権限と義務を理解する。
3	歯科医師の役割: 歯科衛生士と業務上に不可分の歯科医師の職務や権限、義務を理解する。
4	関連職種: 歯科衛生士の業務と関連する他の職種について、職務の内容を理解する。
5	医療に関連する制度と法律: 医療法、健康保険法、薬事法など、医療を支える諸法規の主な内容を理解する。
6	地域歯科に関連する制度と法律: 歯科衛生士による保健活動の基礎となる、地域保健法、健康増進法その他の法律と、それらに基づく歯科衛生士の役割を学ぶ。
7	社会保障としての医療: 歯科診療の経済的基盤を支えている医療保険の内容について学ぶ。
8	社会保障としての介護 : 日本の介護サービスの現状とその制度的背景、ならびに歯科衛生士の役割を学ぶ。
9	社会福祉の現状: 児童福祉、障碍者福祉、老人福祉のほか、さまざまな社会扶助の現状を学ぶ。
10	国民の健康と医療の現状: 各種の統計資料と医療の実績からびた国民の健康状態の把握について理解す

					In the late of	40° da 1.000				
 授	業科目	生命倫理			担当教員 —————	新庄文明				
	2,4,1,7,				実務経験	有				
授	業形態	講義	単位数	1単位	開講時期	2学年前期				
経	経歴・役職 前長崎大学教授(予防歯科)・元大阪大学医学部講師(公衆衛生)									
2 健 3 イ										
	成績評価の方法									
授講	授業中の小テスト 10% 授講態度 10% 定期試験 80%									
				教科書	まと参考文献					
	歯科衛生士 也、随時資		斗医療倫理							
				履修	上の注意					
2 授	業課題の中	で特に関心	のある分野	については自	だことは十分に 日学自習を深める 、、必ず質問して作					
No.	F,//// (C)(-		1 1 1 1 1 0 0		題目・授業概要					
1		士の社会的士法に定め		科衛生士の	役割					
2		会的格差と 役割と責任 ける倫理		ーズ						
3	患者の人 ⁷ 患者憲章	雀								
4	歯科医療 歯科医療	·ムドコンセ におけるコ における倫	ミュニケー i理的課題							
5	高齢者・障 妊婦・幼児	慮を要する 章害者・感灸 見・学童へ∅	た症患者へ り配慮							
6	医療技術	と倫理的課 と倫理 する倫理網	_							
7										
8										
9										
10										

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	業科目		伊夫收集	兴	担当教員	介田 圭
汉未行口		保存修復学			実務経験	有
授	業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年前期
役	職∙経歴				6).	ポーツ専門学校公衆衛生非常勤講師(2013〜201 学大学院医薬学総合研究科保存修復部門助教(現
		•			目標	
					歯科衛生士とし [*] について理解す	て必要な知識を習得する。
)	77休行1678	えイロガスVノ/川	4607中 (07困/		パニング・C理解す	∕J ₀
					価の方法	
基本的	的には定期	月試験100	%だが、定期記	大験で合否のライ	ン上の評価の場	合、小テストおよび授業態度を考慮する。
				~	上参考文献	
最新≀	歯科衛生士	数本 保	存修復学 / 医	E 歯薬出版		
				履修上	の注意	
受業は	は教科書は	ぶよび授業	プリントを中心し	こ行う。		
No.				授業是	 夏 目•授業概要	
1	歯の保存 口腔診査	療法の種類	頁			
2	保存修復	の概要				
	20-2	N = 2 11				
3	コンポジッ	トレジン修	復			
3			復			
3	コンポジッ セメント修		復			
	セメント修	復	復			
		復	復			
4	セメント修問接修復	復 法	復			
5	世メント修問接修復問接修復	復 法 法		割		
5	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
5 6	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯				
5	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
4 5 6 7	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
5 6	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
45678	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
4 5 6 7	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			
4 5 6 7 8	セメント修 間接修復 間接修復 保存修復	復 法 法 における歯	対衛生士の役			

授業科目		保存修復学		担当教員	芥川卓也				
15	耒付日	水 行沙後于		実務経験	有				
授	業形態	講義 単位数 1単位			開講時期	2学年後期			
経	経歴・役職 平成4年5月開業 芥川歯科医院 院長								
コトイン	授業目標 歯科保存修復に対する、基礎知識を習得し、臨床とのリンクを理解する。								
圏科1	米仔修復に	-対する、星	:健知識を管	育侍し、 臨月	くとのリンクを埋用	手する。			
	成績評価の方法								
小テン	小テストにて評価する。								
the sold	to at the total			-	科書と参考文献				
	南生士教本 修復学総論		夏/医歯薬出 言	協					
				履	修上の注:	 意			
			のプリントを テストを行う。),				
					拉米田口 拉米	m as			
No.	保存修復の	の概要			授業題目•授業	埖安 			
1									
2	修復法の利	重類							
3	コンポジッ	トレジン、t	アメントにつし	ハて					
	保存修復	時の診療補	前業務						
4	保存修復時の診療補助業務 ! !								
5									
6									
7									
8									
9									
10	0								

極	光幻 口	歯内療法学			担当教員	介田 圭					
1文	業科目		圏 円	•	実務経験	有					
授	業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年前期					
経	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学講座助教·柔鍼スポーツ専門学校公衆衛生非常勤講師(2013~2016)、 九州調理師専門学校公衆衛生非常勤講師(2015~2016)長崎大学大学院医薬学総合研究科保存修 復部門助教(現在)										
	授業目標										
外科的	外科的歯内療法における術式、使用器具を理解し、歯内療法時の歯科衛生士の役割について理解する。										
				成 績 評 位	 価 の 方 法						
基本的	内には定期	試験100%だ	どが、定期試			易合、小テストおよび授業態度を考慮す					
				教科書と	参考文献						
最新的	 有科衛生士	:教本 歯の硬	更組織•歯髄疹	医患 保存修行	复・歯内療法						
				履修上	の注意						
授業に	は教科書お	よび授業プリ	ントを中心に	:行う。							
No.	11-81-11-11-	I alexander		授業題	目·授業概要						
	外科的歯I 歯の外傷	内療 法									
		における安全 における歯科		割							
3	歯内療法における歯科衛生士の役割										
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

授業科目		歯内療法学			担当教員	梅津寬·原田洋介			
<i>'</i>		[署 内僚法等	<u>.</u>	実務経験	有			
授美	業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年前期			
経歴	梅津 寛 平成2年10月より梅津歯科医院院長歴・役職 原田 洋介 平成26年よりはらだDentalCareClinic開院								
					受業目標				
してもら	歯内療法学における歯髄および根尖性歯周疾患の臨床的分類と治療法および歯科衛生士の役割を理解 してもらう。 歯内療法学における一連の治療法ならびに術式、使用器具・薬剤を学習させ理解を図る。								
				成 績	評価の方	法			
定期試	\$験(100%	6)にて評価	Í						
				教和	斗書と参考文献				
全国族	科衛生士	教育協議会	会(監修)	最新歯科律	5生士教本 「歯の	硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」			
				履修	を上の注意	Ţ.			
特にな	il								
No.					受業題目•授業概	要			
1	歯内療法学 (1章)	学の概要							
2	歯科衛生: (8章)	士と歯内療	法						
3 1	歯髄の保存 (2章)	字療法							
4	歯髄の除っ (3章)	去療法							
5	根管治療·根管充填 (4章)								
6									
7									
8									
9									
10									

					実務経験				
授業科目	歯周療法学			担当教員	村岡有紀・野田久美子・尾崎幸生・大平真之・前めぐみ				
					有				
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年前期				
	尾崎幸生(長崎大学歯周歯内治療学分野 助教)、								
ዏ展る心心	村岡有紀(医療法人咲良会村岡ゆき歯科クリニック 理事長)、								
経歴・役職	野田久美子(松谷歯科勤務)、大平真之(長崎大学歯周歯内治療学分野 大学院生)、								
	前めぐみ	前 めぐみ((長崎大学歯周歯内治療学分野 大学院生)							

歯周治療についての基本的概念、目的、術式を理解し、歯科衛生士として必要な歯周治療および診療補助に関する知識を習得する。

成績評価の方法

定期テスト80%、授業態度20%

教科書と参考文献

最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 (全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版)

履修上の注意

教科書にそって授業を進めます。各自必ず予習復習をするように。

No.	授 業 題 目 ・授 業 概 要
1	歯周治療とは (p2-7)、正常な歯周組織の構造と機能 (p8-16)、歯周病の分類 (p17-27) (大平)
2	歯周病の原因 (p28-36)、ペリオドンタルメディシン (p37-38)、インプラント周囲疾患 (p39-42)、 歯周治療の進め方 (p44-54) (野田)
3	歯周病の検査 (p55-73) (前)
4	歯周基本治療 (p73-86) 、メインテナンス・SPT(p128-133) (p191-195) (前)
5	歯周外科治療 (p87-117) (尾崎)
6	歯周治療の進め方 (p136-138)、検査・診断の補助 (p138-145)、 リスクファクターなどに対する指導 (p145-158) (村岡)
7	口腔機能回復治療 (p118-127)、(p190-191)、歯周外科治療 (p178-190) (大平)
8	スケーリング・ルートプレーニング (p159-177)、 器具・器材の管理 (p196-200) (村岡)

					担当教員	野黒美 麻由子				
授	業科目	1	歯科補綴学	<u> </u>	実務経験	有				
授	業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年後期 30時間				
経	歴•役職	歯科医師	長崎大学	義歯補綴済	上 冶療室勤務					
	授業目標									
習得~	歯およびその関連組織の欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解し,歯科衛生士として必要な知識を 習得する. 一連の補綴治療の流れの中での歯科衛生士の役割について理解する.									
	成績評価の方法									
	テストで60 態度等を力	点以上を合 마味する	格とする							
					斗書と参考文献					
最新的	_南 科衛生□	上教本 歯科	斗補綴学 /	医歯薬出	出版					
				履修	多上の注意	Ţ.				
授業/	は教科書は	および授業ス	プリントを中	心に行う.						
No.					受業題目•授業概					
1	歯科補綴	学とは. 補糸	綴装置の種	類. 補綴》	台療に関わる顎口	口腔系の解剖学的知識. 下顎位.				
2	クラウン クラウンの	分類. 臨床	ニステップの	概説.						
3		喬義歯,架室 構成と材料		ップの概認	兑 .					
4	部分床義部分床義		部分床義菌	歯の構成	臨床ステップの棚	死 說.				
5	全部床義全部床義		全部床義菌	歯の構成要	至素. 臨床ステップ	プの概説.				
6	器材·薬剤	FI]								
7	まとめ									
8	8									
9										
10	0									

					担当教員	丸山 陽市	・ 疊屋 睦人				
授	業科目		歯科矯正常	Ž	実務経験		 有				
授	業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年後期					
紅木	歴•役職	丸山 陽市 1984年~2021年 長崎大学歯学部 元 長崎大学病院医療情報部副部長·矯正歯科副科長									
水土 人	正 7又40	疊屋 睦/	人 花みず	き矯正歯科	院長						
IE 7	7 (4 - 7) 4		77 (-) 1 (授							
					がいる圏科解生コ 治療の診療補助・		テに理解したうえでの 得する.				
				成績言	評価の方法	去					
定其	期試験100	% (60点以	上合格)								
				教科書	書と参考文献						
最新的	· 科衛生	上教本 咀嚼	爵障害•咬′	合異常2	歯科矯正(医歯	薬出版株式会	社)				
					 上 の 注 意						
特にな	<u> </u>										
No.	授業題目・授業概要										
1	1.歯科矯		治療の目的		歯科治療の需要 喬正歯科治療と5						
2					の成長発育						
3				正咬合の分	分 類 4.不正咬合	の原因					
4	矯正歯科 1.矯正歯	診断		2.矯正歯種	斗診断に必要な	診査 3.症例分	分析				
5	矯正歯科 1.歯の移	治療と力-短	喬正力・顎 .歯の移動		定 こ3.歯の移動様	式					
6	矯正装置 1.可撤式		2.固定式矯		.機能的矯正装 E	置 4.上顎拡大	大装置				
7	矯正歯科 1.上下顎(4.口腔顔)	治療の実際 の前後的関 面の形成異	؟ 係の不調 常と変形	和 2.上下 5.歯の埋(顎の垂直関係の 犬と歯数の異常						
8	7.健康保険が適用される矯正歯科治療 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 1. 矯正歯科診断に関わる業務 2. 矯正歯科診療時の業務 3. 矯正歯科患者と口腔保健管理 4. 口腔筋機能療法 5. 器材、資料、文書の管理 6. 個人情報保護										
9	- · 1 i i / V i i	PERFER									
10											

		Ī		TO 71/ 4// E	÷15. m						
授	業科目	口腔外	N科·歯科麻酔学	担当教員	高橋 理						
				実務経験	有						
授	業形態	講義	単位数 2単位	開講時期	2学年後期(14時間)						
経	経歴·役職 九州歯科大学 口腔外科 助教 口腔外科:認定医										
		<u>I</u>		授業目標							
			について理解を深め	る.							
	口腔外科疾患の治療法について理解を深める 麻酔学の基礎知識と救急救命処置について理解を深める.										
				並にの士	V+						
筆記記	試験を行い	· 60点以上	<u>风 々</u> :を合格とする.	評価の方	任						
7,101	W.C.11.	, 00////2/1									
			数 形	4書と参考文献							
新歯和	斗衛生士教	本 口腔タ									
			[]								
特にな	<u> </u>		/12								
No.				題 目・授 美	卷棚 要						
	I:口腔外я	 科の概要(I	編1章, 2章相当)								
1		科の特殊性									
			- 								
	 II:口腔領	域の先天昇		3当)							
2	*埋伏歯	唇顎口蓋	裂, 顎変形症など								
	III:口腔粘	上膜疾患(I	編4章相当)								
3	*前癌病	変, 全身疾	患の一症状としての料	占膜疾患							
	IV:口腔创	質域の嚢胞	(I 編6章相当)								
4	*顎骨囊	抱, 軟組織	囊胞								
	V:口腔領	域の腫瘍(I 編7章相当)								
5	*歯原性	腫瘍, 非歯	原性良性腫瘍,腫瘍	類似疾患							
	*悪性腫	瘍 									
6	VI:唾液朓	泉疾患(I級									
	*炎症, 腽	重瘍, 唾石,	ドライマウス								
7	VII:神経	疾患(I 編:	9章相当)								
	*三叉神	経痛, 顔面	神経麻痺								
8	VIII:血液	疾患と出血	L傾向(I 編10章相当	í)							
			わす血液疾患, 出血性		蔡						
9	IX:口腔器	預顔面に症:	伏を現す症候群(Ⅰ級	扁付章相当)							
10											

授	業科目	口腔外	科学•歯科	麻酔学	担当教員	法師山拡行•平野聡		
JX.			77 7 函作	I WK HT J	実務経験	有		
授	受業形態 講義 単位数 2単				開講時期	2学年後期(16時間)		
経	歴•役職	平野 聡 法師山 拡		の歯科小児 F山歯科医				
		•			業目標			
頻繁に	こなされてい	いる。超高齢				で、抜歯などの小手術が、日常臨床でも Lや全身疾患を有する患者の来院などに		
取り組	する機会が: 1みにくく、5 組みたい。		ハ分野であ	るが、歯学	全般の基盤とな	る学問であるので、しっかり理解できるよ		
筆記記	試験を行い	、60点以上	を合格とし	人満たない	ものには再試験	を行う		
				#/. T) =	#1 /> **			
				教科	書と参考文献			
#C1E1	이 소드 나 그 참		小丛 毕	₹₩₩₩ ₹₩₩	3 16 35 H H C			
<u></u> 新密林	平衛生士教	本 口腔外	科字•蜜科	外麻酔学 图 層 修	医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医			
刊解為	を助けるたね	カに スライ	ドを多田し		· · · · · ·	 D目で見て確認し、理解すること。		
> ±/1+ ⟨	E1971) SICO		1 69/110	よ 7 。 加 / Y		フロイルでは関いして一生があって。		
No.				授業題	1 目・授業	概 要		
1	口腔領域の	の損傷とその	の処置(I ;	編3章)				
1		置、整復固定		再植術				
2		域の炎症(炎症疾患に		*歯周膿	傷、歯槽膿瘍、	顎炎、顎骨周囲炎など		
3		実際(I編1 歯、難抜歯の か治癒なと	の実際	*口腔出血	に対する処置			
4				ミ際など(I	編10章①④⑤	7)		
5	*問診診3	查、介助者(の役割 *	編10章② 手指消毒、 テクニック実	術野消毒、清清	g域·不潔域		
6		プント(I 編ント治療の)		正用マイク	ロインプラントの	実際 *実習		
7		析(Ⅰ編10± 出術の実際		、1次閉鎖)			
8		县(I 編3章 註 顎関節原						
9		砕、全身麻	幹、精神鎮	静法				
10	*全身的偶発症 □腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわり(Ⅲ編) 検査・診断時の業務 □腔外科・歯科麻酔処置における業務など、実際に使用する器具の展示やスライド、DVDなど視聴覚機材を利用して、興味を持たせると同時に、理解を深める							

授業科目	小児歯科学		<u> </u>	担当教員	本川渉·藤原卓· 木下莉沙子·白倉佳奈	品川光春	
				実務経験	無	有	
授業形態	講義 単位数 2単位			開講時期	2学年前期		
	本川渉	福岡歯科	大学 名誉	教授			
	1981年九州歯科大学大学院小児歯科専攻卒(歯学博士号取得)、 品川光春 1984年しながわ小児歯科医院開業、 1988年日本小児歯科学会認定医、2005年日本小児歯科学会専門医指導医						
経歴•役職	藤原卓	1983 大阪大学歯学部卒業 1990 歯学博士 1994 大阪大学歯学部付属病院講師(小児歯科) 2002 長崎大学歯学部教授(小児歯科)					
	木下 莉沙子	2021 長崎	大学医歯薬	蒸総合研究科 图	医療専攻		
	白倉佳奈	2020 長崎	方大病院 /	N児歯科修練歯 ²	科医		

授業目標

小児の口腔の健康を維持し、健全な永久歯列を育成するためのチーム医療を実現するために小児の対応法を含め、必要な知識、技能、態度を修得する。また、小児歯科の臨床の場で必要な小児の診療介助、小児保健指導を修得する。

成績評価の方法

講義終了後のペーパーテストにより成績を判定する。

教科書と参考文献

教科書:最新衛生士教本 小児歯科 (全国歯科衛生士教育協議会監修) 医歯薬出版

履修上の注意

教科書での予習・講義後の復習を各自行なうこと。知識と技術がうまく融合するように基礎的な内容と臨床での応用を常に結びつけて考える習慣をつけること。

No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要
1	小児歯科学概論 小児の心身の発育、生理的特徴 小児の歯科疾患
2	顔面頭蓋の発育 歯の発育と異常 歯列および咬合の発育と異常
3	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科診療体系の流れ
4	小児歯科における患者との対応法障害児の歯科治療
5	小児歯科診療における歯科衛生士の役割
6	
7	
8	
9	
10	

授業科目		Т Е	· 41 +4 +4 /4	<u>ښځ</u>	担当教員	高木幸則			
按	美科日	迷	科放射線	· 子	実務経験	有			
授	業形態	業形態 講義 単位数 2単位			開講時期	2学年後期			
経	経歴・役職 日本歯科放射線学会員/日本歯科放射線学会認定医・専門医								
歯科[歯科医療を行う、うえで安全かつ有効な放射線の利用について理解する								
	成績評価の方法								
定期記	試験 (90% i	前後)と講郭	長時間中に	[行う小テス]	ト(10%前後)の	結果を併せて行う			
					書と参考文献				
わかり	うやすい歯	科放射線学	学(学建書)	完)					
				履修	上の注意				
教科	書にそって	進めます。	理解できた	ないところはれ	積極的に質問し	てください。			
No.				授業題	目・授業	概要			
1	放射線を対放射線とコ								
2	放射線の	人体への影	響						
3	歯科用工	ックス線撮影	影装置						
4	エックス線	画像の形成	Σ̈́						
5	口内法撮影	影および診	療補助						
6	口外法撮 最新の画(影および診 象診断	療補助						
7	フィルムの	現象と管理							
8	デジタルエックス線システム								
9	正常なエックス線画像								
10	病変のエックス線画像								
11	放射線の関	坊護と管理							
12	放射線治療	寮の基礎知	1識						

極業利日	##-1	以之际加品	± п	担当教員	山口 夏海·向井 千裕					
授業科目	迷 个	斗予防処置	<u>. П</u>	実務経験	有					
授業形態	講義·実習	単位数	2単位	開講時期	2学年前・後期(80時間)					
経歴•役職	専任教員									
学習する。患者	授業目標 1年次に習得した基本的な知識や技術を再確認し、歯周治療の流れに沿った処置や指導の知識と技術を学習する。患者の口腔内をみて指導計画が立てられ、指導内容や説明も具体的に患者の視点の合わせてできることを目標とする。									
成績評価の方法										
定期試験60点	以上で合格と	とする								
			教	科書と参考文献						
全国歯科衛生全国歯科衛生	上教育協議会 上教育協議会	会監修 『強 会監修 『倪	商周病学 第 是健生態学	置論・歯科保健持 第2版』/医歯薬 第3版』/医歯・衛生士 国試の	薬出版					
			履(多上の注意	<u>보</u>					
					では行き届きにくい部位や見落としやすい 空内をしっかりみて実習に取り組むこと					
No.				題目・授	業 概 要					
1 ·超音波 ・超音波	スケーラー縁	ェアースケ 下チップに	ーラーによ. よるスケー	るスケーリング実	뀔 김					
2 ·PMTC: ·歯面清排	帚器による実	習								
	生アセスメント 進行について				歯周炎の説明のための)					
	メントレベル、 部病変診査の	• • • • • •	ーラーによ	る深いポケットの	SRPの復習					
5 歯科衛 プロー	断生過程の基 ·ビング・手用	本的な考えケーラー	え方と展開		検査〜処置までの一連の流れの実習を2回行する。 問題抽出や2回目は1回目との比較を行					
6 6	•偶発事故、感染予防									
7										
8	8									
9										
10	0									

	業科目	歯科保健指導法Ⅱ			担当教員	田島沙織・手光淳子				
1 X		图 作	 保健 指導	伝Ⅱ	実務経験	有				
授美	業形態	講義·実習 単位数 2単位		開講時期	2学年前期・後期					
徝	役職	専任教員								
114-1411	授業目標									
1年次	地域歯科保健活動、日本の健康増進施策についての理解 1年次で学んだ基礎知識をもとに、ブラッシング校外実習実施 予防処置、保健指導合同実習において、口腔内観察力・指導力を身につける									
	成績評価の方法									
定期試	⊀験60点以	人上で合格る	とする							
				±1+1	ソキレシネテ 本					
教科書	 全国	歯科衛生=	上 教育協		斗書と参考文献 「最新 歯科衛生	E士教本 歯科予防処置論·歯科保健指導論,				
					 					
					慢修上の注意					
						う、練習・実践をする。				
• 予防%	処置、保傾	推導合同	実習で処置	の内容や	検査結果に基づ	いた説明、指導ができるよう実習に取り組む。				
No.				授 業	題目・授業	<u></u>				
	V編2章::	地域歯科保	:健活動~		-	к м д				
1										
2	乳歯、永久	大歯萌出順	番							
3	校外ブラッ	シング指導	冥習(幼稚	園•小学校	•中学校•特別才	支援学校など)・・・・時期は4月~12月実施				
	※幼稚園1	・小中学校	3校•支援	学校1校						
4	予防処置•	·保健指導	I・Ⅱ年合	同実習						
5 ½	症例別指導	尊案作成•努	発表(グルー	ープワーク)						
6										
7	7									
8	8									
9	9									
10										

挳	業科目		栄養指導Ⅰ	ſ	担当教員	林 俊介				
13	未行口	2	不受11号1	L	実務経験	有				
授	業形態	講義	単位数	1単位	開講時期	2学年後期(16時間)				
経	歴•役職	長崎国際	大学 健康	管理学部	健康栄養学科	准教授				
	授業目標									
し、ラ域の制	本科目では、健康づくり、疾病予防のための正しい食習慣の形成を目指すための食に関する教育を理解し、ライフステージの各段階で必要とされる食と栄養の知識と問題点を学習する。また、人々が生活を営む地域の実情を知り、地域の健康問題、食生活等の特徴を踏まえた介入が考えられるようになる。さらに各種疾患と口腔環境、口腔ケアの関わりを知り、多職種連携、在宅医療についても学習し、その知識と指導のための技能の習得を目標とする。									
				成 績	評価の方	法				
定期:	テスト(筆記)90%、授業	態度・授業	への参加	度(出席カード(レ	ポート)) 10% にて評価します。				
				教科	4書と参考文献					
					栄養と代謝(医 科保健指導論(
				屋 修	 ・上 の 注 意					
木毛	4目でけ ?	カキで学習	図1 てきたる		· · · -	・ より発展的な内容に高めて学びます。み				
なさん	しの身近な?	食の問題と	歯科の関れ	りを理解す	片るために、普段	から食や健康づくりの話題、ニュース等に り組んで、実りある授業にしましょう。				
No.	授業題目・授業概要									
1	国民健康 •国民栄	≢康との関〕 ・栄養調査 養の現状と ・栄養教育	課題							
2	食育と食育	食事摂取基 育基本法、연 表、食品構	建康日本21		康•栄養調査(長崎	奇県)、生活習慣病				
3	食生活指金									
4	乳児期、約	ージ別の栄 カ児期、学輩 食習慣の形	童期、思春	期	泛給食					
5	成人期、如 •特定健	ージ別の栄 妊娠・授乳期 康診査、メ	別 タボリックシ	ンドローム						
6		ージ別の栄)20、介護、		,	炎、咀嚼·嚥下障	(害、嚥下食、介護食)				
7	特別な支援が必要な者への食事指導 障がい児、障がい者、要介助者 スマイルケア食、ユニバーサルデザインフード、低栄養									
8	疾患と口服 栄養サポ [・] まとめ		——— NST)、多瓏	——— :種連携、:	 王宅医療、胃ろう	、歯周病と疾患(糖尿病)				
9										
10	10									

授業者	科目	歯科詞	診療補助法	ŧ II	担当教員				
					実務経験	有			
	形態 講義·実習 単位数 2単位 開講時期 II 学年前期·後期(80時間)								
経歴・	役職	専任教員							
					授業	目標			
		上の診療補助 こおける実践			出来る限り実	民践に近い実技トレーニングを行う事によって、			
定期記	成績評価の方法 定期試験により、6割以上を合格とする。								
				教科	十者 と 参	参考文献			
最新的 最新的 歯科領	最新歯科衛生士教本「歯科材料」医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「歯科機器」医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版医歯薬出版 歯科衛生士のための保存アシスタントブック 歯科衛生士のための補綴アシスタントブック								
				履	修上(の注意			
		ける実習が臨 えできるようタ			実に実を結	ぶように、実技の反復練習を怠らず、毎回の到達			
No.				授	業 題 目	• 授 業 概 要			
1	コングラ	ーセッティン: /ポジットレシ ラスアイオノ /レー修復	ジン充填	種充填法は	および修復物	物の器具・術式を理解する)			
2	·抜骴	ーセッティン: 道 ぎ充填	グ②(歯)	内療法での)術式・補助	」の実習)			
3	·普ì	ーセッティン 通抜歯 雑抜歯	グ③(抜ī	歯術式お』	び器具受り	ナ渡しの補助実習)			
4	トレーセッティング④ (歯周外科手術の術式および補助実習) ・歯肉剥離掻爬術 ・歯肉切除術								
5	トレーセッティング⑤ (口腔外科処置に使用する鋭利な器具の取り扱いについて) ・替え刃メスの取り扱い、縫合糸の取り付け方								
6	トレー	ーセッティン	グ総復習	(器具受に	ナ渡しの再砕	崔認)			
7	Br印象採得(マネキン実習)								
8	臨床	実習前相互	瓦実習(総行	复習)					

歯式記入(歯科専用略語の暗記)

捡	業科目	籽	床検査	法	担当教員	隈 博幸			
1文	未行日	比印	1 体 便 宜	伍	実務経験	有			
授	業形態	講 義	単位数	1単位	開講時期	2学年前期 15時間			
経	経歴・役職 長崎国際大学薬学部薬学科 臨床検査学研究室 教授 衛生検査所(長崎国際大学薬学研究センター血栓性素因部門) 部門長								
		•		•	受業目標				
	歯科衛生士にとって臨床検査がなぜ必要であるかを理解し、関連する検査の意義、原理、方法、注意点、判定法に関する知識と実践能力を、講義および実習を通じて習得する。								
				成 績	評価の方	法			
また、					筆記試験を実施 かにレポート(30%	する。 %)を課す。さらに通常の授業態度を最大10%			
	_		_	教	科書と参考文献				
					最新歯科衛生士教 新歯科衛生士教 2	数本 臨床検査/ 医歯薬出版 本 歯科診療補助 臨床検査法/医歯薬出版			
	履修上の注意								
					資料を配布する。 対官の指示に従う				
No.				担	受業題目•授業櫻	我要			
1	生理検査 尿検査:	試験紙法	サイン(体) 尿の性質(温・脈拍・血 こついて	L圧·呼吸) 心機	能 肺機能			
2	血液型検 貧血の検	と採血法: 査: ABOz 査: ヘマト	大検査 Rh クリット 赤	式検査 そ 血球の性質	の他 釘と機能				
3	感染症の 肝機能検	検査: 免疫 査: 肝機能	ぞ系・炎症で とに関わる	マーカー検達 生化学検査		· · · ·			
4	病理検査	:病理細胞	包検査につ	いて	査 糖尿病とは				
5	口腔領域の臨床検査: 口臭検査 味覚試験 アレルギーテスト 5								
6									
7									
8									
9									

 授業	科目	┃ ┃ 看護学概論	淪(救急蘇生氵	失)20時間	担当教員	久保ちどり				
1221	VIII		III (1)(1)(1)(IIII)	Z) 20: 3 [R]	実務経験	有				
授業別	形態	講義•演習	単位数	1単位	開講時期	2学年前期				
経歴	・役職				介護支援	専門員·看護師				
					授業目標					
	1. 歯科衛生士に必要な看護の知識を学ぶ。 2. 歯科衛生士に必要な看護ケアの方法を学ぶ。 3. 他職種との連携の必要性を理解し、医療チームの一員としての自覚を持つ。									
					戍績評価の					
	試験	および演習態	度により評			0%, 授業態度10%)				
夕国3	1 大振	到十学,振学	郊付居住		(科書と参考 - 今絙集 - #	う文献 科衛生士のための看護学大意第3版、医歯薬出版株式				
会社.	, .			元有喪司政	「云瀰朱. 閚	村倒生工のための有護子人息第3版,医圏栗山版体工				
参考凶 No.	書につい	いては随時紹介	する。		授業題目・	授業概要				
1				・ムの一員と	しての歯科	衛生士の役割を理解する。 割について学ぶ。				
2	地域图	医療活動にお	おける歯科律	寄生士の役	割と地域包	括ケアシステムについて理解する。				
3	歯科循	新生士が知っ	ておくべき	看護技術・	•••バイタ <i>/</i> I	・サインについての理解を深める。				
4	歯科衛	新生士が知っ	ておくべき	看護技術・	・・・バイタハ	・サイン測定の手技を習得する。				
5	コミュニ摂食、	ニケーション0 食べることの	の取り方、患)意義。摂食	見者との接し ・・嚥下障害	たたつい その食事の記	て学ぶ。 選択や接取方法について理解する。				
6	安全に	こ配慮した食	事の工夫と	介助の仕力	ちについて	習得する。				
7	, 嚥下訓練と口腔ケアについて習得する。 緊急時の対応。									
8	患者の安全と安楽への援助・・・・安全安楽な姿勢への援助。褥瘡の予防。 体位変換などの技術の習得。									
9	患者の	安全と安楽	への援助•	・・・障害の	ある人への	介助の仕方を習得する。				
10	その他感染対	1の看護技術 対策、スンダー	(罨法・吸入ード・プリコー	・・吸引など ーションにつ	`) Dいて学び、	防護用具の着脱法を習得する。				
11	試 験									

				担当教員	新庄文明							
授	業科目	院内感到	杂予防学	 実務経験	有							
授	業形態	講義単位	立数 1単位	開講時期	2学年前期							
経歴	壓•役職	前	 長崎大学教授(阪大学医学部講師(公衆衛生)							
			3	授業目標								
	1 感染および感染予防の基本を理解する											
3 歯	3 歯科診療室における感染予防の目的が説明できる											
4 密	4 歯科医療における必要な感染予防対策ができる 成 績 評 価 の 方 法											
	中の小テス		/4/\/\ /\/	, нт Im 42 24								
	態度 10% 式験 80%											
/~/y, h		-	教	科書と参考文献								
				修・医歯薬刊出版 出版) 抜粋コピ								
	休健拍导 也、随時資			山瓜/抜作コピ	— をBC 4D							
			履	修上の注意	意							
				さんだことは十分に 自学自習を深める	理解できるよう整理する							
				げ、必ず質問して角	军決する							
No.			4	授業題目•授業相	既要							
1	感染とは何 感染症の	·										
	感染予§ 感染源対											
2	検査、検 保菌者(:疫										
	感染経路	対策										
3	消毒と滅 接触機会	会の制限										
4	感受性対策 抵抗力 <i>0</i>											
	予防接種		 									
5	歯科疾患	息と感染症		18-011.								
	歯科診療	室における感染		ドプリコーション								
6		テクニック E物の処理										
	歯科診療	室における感染 重とその限界	予防 3									
7	針刺し事	が故の予防と対処										
8		室における感染 O人権とQOLので										
	感染症を	有する患者へ 室における感染	の対応									
9	実習:バ	リアテクニックと!	ノキャップ									
	ワークシ	ョップ:感染機会	そと感染防御									
10												

授業科目		医療保険事		担当教員	森 希					
汉未付日		心 源 体医学	1 51	実務経験	有					
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	2学年 後期					
経歴•役耶	歯科衛生	土								
				授業目標						
歯科事務管	種類と歯科請 理士技能認定 務(計算)とレ	試験を受験	し合格を							
			成	績評価の	方 法					
官期試験(学	科)60点以上	を合格とする	5.							
				教科書と参考文章						
	実際〜基礎編 題集、プリント		務の実際←	~応用編~、学	習サポートブック、練習問題集					
4										
				履修上の注意						
□握しておく	こと。また、予	習よりも復習	に力を入	れること。出され	るので、部位名・病名・治療内容(流れ)を た課題を確実に提出すること。					
医療保険の	種類を説明す	る上で保険	証、レセプ	ト作成にあたって	でボールペン、請求計算をする際に電卓が必要					
No.										
NO.			授 🗦	にとり とうこう とうこう とうこう とうしょう とうしょう しょう とうしん とうしん とうしん とうしん とうしん とうしん とうしん しょう	:業概要					
医療格	と関の概要と図	医療保険のし			業 概 要					
 医療機 1	銭関の概要と医 合付と患者負担				光					
1 医療機 保険約 2 カルデ	合付と患者負担 の種類	旦について	くみについ		光 業 概 要					
1 医療機 保険系 カルデ カルデ	合付と患者負担 の種類 への転記・治	担について 療費の計算	くみについ 方法	17	光					
1 医療機 保険約 カルデ カルデ	合付と患者負担 の種類	担について 療費の計算	くみについ 方法	17	· 業 概 要					
1 医療機 保険約 2 カルテ カルテ 3 初診**	合付と患者負担 の種類 への転記・治	型について 療費の計算 いて(点数、	くみについ 方法 レセプトの)記入方法)	光 業 概 要					
1 医療機 保険約 2 カルテ カルテ 3 初診*	合付と患者負担の種類 の種類 への転記・治 ↓・再診料につ	型について 療費の計算 いて(点数、	くみについ 方法 レセプトの)記入方法)	業 概 要					
1 医療機 保険系 2 カルテ カルテ 3 初診* 4 投薬* 薬剤*	計付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トについて(点 トの算定方法	型について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト	くみについ 方法 レセプトの の記入方)記入方法)	像診断、医学管理、在宅医療)					
1 医療機 保険系 2 カルテカルテ 3 初診* 4 投薬* 薬剤*	計付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トについて(点 トの算定方法	型について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 去(注射、処	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、)記入方法)						
1 医療機 保険約 2 カルデラ 3 初数 4 要業 海瀬 5 練習 6	合付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トでの算定方法 日を別算定方法 日の関係でである。 日の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本のでは、日本ので	度について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 でのプリント でレー・鋳造)	大みについ 方法 レセプトの の記入方: 置、手術、)記入方法)	像診断、医学管理、在宅医療)					
1 医療機 保険が カカルデラ 3 投薬消療 を 強ってデラー 3 投薬消療 を 強ってデラー 3 投薬消費 を は、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	合付と患者負担の種類 への転記・治 ト・再診料について(点 トの算定方法 を別算定方法 関係人の関係である。 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	度でいて 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 なのプリント ンレー・鋳造デ ングブック)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(象診断、医学管理、在宅医療)					
1医療機能2カルルテラ3投薬剤療習5練習6練習7	合付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トでの算定方法 日を別算定方法 日の関係でである。 日の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本の関係である。 日本のでは、日本ので	度について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 でのプリント レレー・鋳造デ レグブック) で有床義歯)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(象診断、医学管理、在宅医療)					
1医療総2力初3初4薬剤療習5練習6次練習7練習7練習	合付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トでの第一ででは トでの第一ででは、 日本のでも 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	度について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 でのプリント レレー・鋳造デ レグブック) で有床義歯)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(象診断、医学管理、在宅医療)					
1医療総算2力力初3投薬治療習4事業567裏別療習678	合付と患者負担の種類 のの転記・治 ト・再診料について(点 トの算定方法 別等項目をでででである。 「関(たレーニンは級(加工義強 別題(トレーニン	度について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 でのプリント レー・鋳造デ ノグブック) で有床義歯 アグブック)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(像診断、医学管理、在宅医療)					
1医保別力別2力別3投薬治療4事業5練費6不練学7各8修理	合付と患者負担 の種類 への転記・治 ト・再診料につ トでのに対して(点 トでのに対して) トでのは、 トででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・では、 ・	型について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 1容のプリント レー・鋳造) レグブック) で有床義歯) レグブック)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(像診断、医学管理、在宅医療)					
1医療総算234東 治練 歯練 欠練 学 治理56789	合付と患者負担の種類の種類での転記・治しての事にでは、 はの第二のでは、 はのではのでは、 はのではのではのでは、 はのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのでは	世について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト 生(注射、処 で で で が で が で が で が で が で が で が で か か か か	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(像診断、医学管理、在宅医療)					
1 (保) 2 カカ初 3 (保) 4 (基) 5 (基) 6 (基) 7 (基) 8 (基) 9 (基) 10 (基) 2 (基) 3 (基) 4 (基) 5 (基) 6 (基) 7 (基) 8 (基) 9 (基) 10 (基) 10 (E) 10 (E) <	合付と患者負担の種類の種類については 一の一般を対している。 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 一の一般を対して、は、 にの算りでは、して、は、 にのには、 にの	世について 療費の計算 いて(点数、 数、レセプト と(注射、処) と(注射、少) ・有床義歯) ・グブック) ・だブック) ・だブック) ・焼 ・グブック)	大みについ 方法 レセプトの の記入方 置、手術、 い	いて シ記入方法) 法) 麻酔、検査、画(像診断、医学管理、在宅医療)					

医療事務管理士技能検定試験

					T	1						
授業科目		 茶道文化 Ⅱ		П	担当教員	安部直樹・嶋内麻佐子						
1,7,	/N I I H	, <u>2</u> , ,, <u>a</u>		-	実務経験	有						
授	業形態	実習	単位数	1単位	開講時期	2学年前期						
経界	歴•役職	安部直樹	学校法人	九州文化学	学園 理事長							
/152/7	L 1/2/1999	嶋内麻佐	子 長崎国									
い。濃	授業目標 茶道文化IIでは、Iで学んだ薄茶点前を基礎に濃茶点前を身に付け、茶道の本質を感じ取っていただきたい。 濃茶席で使用する茶道具の名称や使用法、客や亭主の心得などを学ぶ。 美味しい煎茶の入れ方・茶菓子の出し方日本間での立ち居振る舞いなど、家庭・職場・社会生活に役立てる。											
	成績評価の方法											
	濃茶点前の実技試験を実施し、それにより評価する。正確な濃茶点前ができたか。よどみなく点前を最後まで続けることができたか、道具を丁寧に扱うことができたかなどを中心に総合的に評価する。											
				~ .	科書と参考文献							
嶋内	席佐子著	「茶道文化	上 基礎編_	本学独自	テキスト							
				þ	覆修上の注意							
茶道を	と茶室の中	からだけで	なく、日常の	の生活の中	に活かす努力を	をしていただきたい。						
No.				授業	題目·授	業 概 要						
1	煎茶につい	いて										
2	職員紹介	、濃茶見本	点前、出し	袱紗の折り	方、仕服の紐結	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
3	濃茶点前	前半										
4	濃茶点前割稽古•茶											
5	濃茶点前	則 半 										
	濃茶点前 ² 割稽古•日											
	濃茶点前											
8	花寄せ・炭	き点前										
9	濃茶点前	復習										
10	濃茶点前											
11	茶道大会の概説											
12	茶道大会											
13	初釜											
14	松芳忌											
15												

	T		担当教員	富﨑 朋子
授業科目	行動科:	学(カウンセリング論)	実務経験	有
授業形態	講義	単位数 2単位	開講時期	2学年後期
経歴・役職		京都教育大学	大学院修士課程	上 修了、公認心理師、臨床心理士、
		文呵 宗	授業目標	士会副会長、佐世保共済病院公認心理師
 - - 動科学に関 ⁻	する講義とえ	カウンセリング実習を行	い、知識の定着	とカウンセリングマインドに基づいた対応を行える
力をつけること すう。	を目指す。さ	また後半は過去の国家	試験問題の中だ	ら心理学分野に関するものを抜粋し問題演習を
		成	績 評 価 の	方 法
定期試験の得点	点と平常点	(授業プリントの提出)に	こより評価を行う	。【定期試験90%、平常点10%】
			教科書と参考文	
所版 行動科学	学序説 ~行	「動科学としての心理学	学~ (世音社)	
			履修上の注意	<u> </u>
尼布したプリン	トについてに	は,授業内容を理解した		
是出されたプリ	ントは平常ん	点として換算し、定期記	は験の際の評価の	の対象とする。
No.		授	業題目・哲	受業概要
「心理学	とは?」			
1 心理学の	目的、研究	法などについて詳しく	学ぶ。またエゴク	ブラムを体験し自分自身についての理解を深める
「知覚心 」 2	理学」			
	覚、錯視な	どについて詳しく学ぶ。	0	
3 学習心理	理学」			
	の実験など	を分かりやすく解説し、	オペラント条件	づけ、レスポンデント条件づけについて理解する。
「発達心理	理学(1)」			
	発達につい	て学び、歯科治療場面	「で子どもの対応	を行う場合に必要な知識を身につける。
5 「発達心理	理学(2)」			
	、降の発達に	こついて学び実際の場	面で青年、成人	、老年期の患者に適切に対応できる力をつける。
「ストレス [・]	マネジメント	理論」		
ストレスに	ついて学び	が、ストレスマネジメント? 	を適切に行うたる	めの知識や技法を身につける。
7 「カウンセ	リング理論	J		
	リングの基本	なについて学び、コミュニ	ニケーション力を	育成する。
8	リング実習	-		
	こ学んだこ	とを用いて、カウンセリン	/グ実習を行う。	
9				
	習問題を角	军き、正答のポイントとな	る知識をしっか	り確認する。
「まとめ (i	試験対策な	ど)」		
10 10 - 1	-3723 -3	2 -m = 4 -4 -2 -2 -2 -2		

授業の中で学んできた理論やカウンセリング法について、まとめを行う。

捡	業科目		行動科学	5	担当教員	新庄文明					
					実務経験		有				
	業形態	講義			開講時期	2学年前期					
経	歷•役職		前長崎大			大学医学部	講師(公衆衛生)				
	AD 4.		a		業目標						
	2 受診者の口腔保健管理に必要な対処ができる 3 歯科診療室における適切なコミュニケーションができる										
1= 114		/		成 績	評価の方	法					
	中の小テス 鉄度 10%										
	態度 10% 試験 80%										
					書と参考文献						
	医療人間		ない」(教	(科書)							
ての作	也、随時資	朴阳山									
				履修	上の注意						
特にフ	なし										
No.				授:	業題目·授業概要	要					
		における臨	床心理	474,	7,00		-				
1	不安の軽										
	痛みのコン 歯科保健										
2		口動 にたいする	姿勢と予[防行動							
3	歯科医療										
3	ロールプレ OSCIとは(
	歯科医療	におけるコ	ミュニケー	・ション							
4	セルフケア			111.							
-	歯科医療(におけるス	トレスへの	対処							
5											
6											
7											
8											
0											
9											
10											

授業科目		接遇作法 Ⅱ			担当教員	梶谷よし子					
		万	透作法	Ш	実務経験	有					
授	業形態	講義·演習	単位数	1単位	開講時期	2学年後期					
経	経歴・役職 企業研修部長										
	授業目標										
1年次に「接遇マナー」で学んだ基礎内容を生かし、さらに具体的実務内容を学ぶ。 「サービス接遇検定」問題に沿った学習を行い、2年次に3級の資格取得を目指す。											
成績評価の方法											
筆記7	70% サー	ビス接遇検	定結果20	% 授業態	度10%						
				教科書							
サート	ごス接遇検が	定実問題集	3級								
				履修	上の注意						
特にな	il .										
No.				授業題	目・授業	概要					
1	オリエンテ サービス接	ーション 医遇検定取行	导の意義								
2	サービスス	タッフの資気	質、専門知	1識							
3	一般知識、	対人技能									
4	実務技能、	総復習									
5	検定対策物	寺別講座 I									
6	検定対策物	寺別講座Ⅱ									
7	サービス接遇検定										
8											
9											
10											

授業和	31日	摂食機能	· 口腔機能	訓練I	担当教員	玉田泰嗣						
32/21	1 H		,		実務経験	有						
授業刑	肜態	講義	単位数	1単位	開講時期	2学年後期						
経歴•	役職	歯科医師	歯学博士	長崎大学	学病院 摂食嚥	Fリハビリテーションセンター						
					摂食嚥下障害に	対して、口腔から全身、生活まで考えた対応がて						
图 作 日	歯科衛生士として必要な知識を習得する。											
成績評価の方法												
定期試験80%、授業態度20%で評価する。												
				-1/	**************************************	h						
梅利 .	: 上 のた	めの摂合	- 藤下川ハビ		対科書と参考文献 / 第2版 医雄							
本作第二	<u>.</u> ⊥.∨ <i>)</i> /c	.0707]次及「	無ージ/ベロジ)		3米山/IX						
				履	修上の注	意						
不明点は	けいつで	も質問する	ること。									
	A414				き題 目・授	業 概 要						
1 1	食嚥下!	ノハビリテー	ーション 講	:義(<u>l</u>)								
	食嚥下!	Jハビリテ -	ーション 講	義②								
2												
3 摂	食嚥下!	ノハビリテー	ーション 講	義③								
	& 44 T)		5 5 544	**								
操(4	食嚥ト!	ノハビリアー	ーション 講	義(4)								
摂	食職下1	Jハビリテ-	ーション 講	·姜⑤								
5	K.201.	,,	A 71 HH	·4X.©								
長. 6	食嚥下!	Jハビリテ-	ーション 講	義⑥								
摂 ₍ 7	食嚥下!	ノハビリテー	ーション 講	義⑦								
扭	企 儘下1	しいびロニ.	こんと	主								
8 8	皮 豐 [*]	ハヘロリアー	ーション 講	·我©								
9 摂:	食嚥下!	Jハビリテ -	ーション 講	義⑨								
	A . #:			.)/: ©								
10 摂	食嚥下」	ノハビリテー	ーション 講	義(10)								

授業科目	/告:	報処理論	п	担当教員	宮崎省三		
汉未行口	日刊スピ生品工			実務経験	無		
授業形態	演習	単位数	1単位	開講時期	2学年前期(20時間)		
経歴•役職	法人事務局人事課 課長						

授業目標

今までに修得したwordの知識や新たに本講義で修得していく知識や技能を使って、「Power Point」を修学していく。このプレゼンテーションソフトを使用して、各自テーマを決め、発表行う。歯科衛生士として研究発表やブラッシング指導などでプレゼンテーションができるようになる。

成績評価の方法

・発表は、最終授業日に行い、学んだ知識や技能を基にその特徴を把握し、その習得状況を総合的に判断し、評価する(80%)。授業態度・授業への参加度は、発表準備における実践態度を主観的に評価する

教科書と参考文献

参考書: プリントを配布する。

履修上の注意

各回毎にステップアップしていき、その操作方法を習得していくといった流れで展開するため 出席し、その操作方法をしっかりと理解すること。 わからないことはその場で必ず解決していくこと。

	1	
No.		授業題目・授業概要
1	Power Pointの活用(1)	プレゼンテーションについて、デモプレゼンテーションの視聴(2種)
1		Power Pointの起動と終了、テキストの挿入・削除・配置・書式設定
2	Power Pointの活用(2)	表、グラフ、図表、図、図形、、グラフィックおよびオブジェクトの挿入
3	Power Pointの活用(3)	スライドの追加、削除等、クリップアートの挿入、グラフの加工
		*各自プレゼンテーション制作のための課題中間提出
4	Power Pointの活用(4)	背景、デザインテンプレートの活用、表の作成
T		*中間提出課題のフィードバック
5	Power Pointの活用(5)	サウンド・アニメーション効果の追加、タイミングの設定
3		画面切り替えの活用、スライドショーの開始 *発表内容の最終確認
6	プレゼンテーション制作(1)	様々な印刷、配布資料の作成、プレゼンテーションのための制作
0		および実践
7	プレゼンテーション制作(2)	プレゼンテーションのための制作および実践
<u>'</u>		*発表レジュメの配布
8	プレゼンテーション制作(3)	プレゼンテーションのための制作および実践
9	プレゼンテーション制作(4)	プレゼンテーションのための制作および実践
10	プレゼンテーションの実践	各自製作のプレゼンテーション発表、総評、アンケート
10		

挳	業科目	リハビ	リテーション	/椰診	担当教員	大山 盛樹						
12	未行口	9/10))	744.0冊	実務経験	有						
授	業形態	講義	単位数	1単位	開講時期	2学年前期・後期						
経	歴•役職	理学療法 長崎県理学	士 学療法士協	会役員								
11 18	n= , ,	· の仕でナ!	∓		受業目標	311 - 1 . 1 . (日本) 7 . (日本)						
	リハビリテーションの体系を歴史・語源より理解していただき、リハビリテーション医学とチーム医療 の必要性まで理解する。											
	成績評価の方法											
•定期	試験、レポ・ テスト70% 態度30%	ート、出席、	授業状況は	こよる総合記	評価							
					科書と参考文献							
	書:一介護 [;] : 適宜	福祉士選書	·- 「リハ	ビリテーシ	ョン概論」							
				履修	多上の注意							
		寺つ方々の なリハビリラ				等に携わる職種として、摂食嚥下障害に						
No.				授業	題目・授う	業 概 要						
		ーションの暦 ーションの理										
2	ICFとICID リハビリテ・	H ーションとチ	ーム									
3	職業的•社	と会的リハビ	リテーション	/								
4	健康、体力	力、メタボと道	重動									
5	介護保険	、介護予防	、自立支援	、フレイル、	. 地域包括ケアシ	ノステム						
6	嚥下障害	に関連する	リハビリテー	・ションの主	にな疾患							
7	口腔機能	、摂食嚥下	のリハビリテ	ーション								
8	8											
9)											
10												